

3学年通信

初めてのリモートでの始業式・生徒集会!

8月27日(金)、いよいよ2学期がスタートし、本校では、初めてリモートでの始業式と生徒集会が行われました。教室での始業式でしたが、体育館で行うときと同じ緊張感で行うことができました。3年生からは、学年代表として、3年2組の里山真実さん、生徒会代表として、3年2組の花田穂果さんが、2学期の抱負、それぞれが目標とする3年生の姿を述べてくれました。ここで、2人の言葉の一部を紹介します。2人の思いも踏まえ、一人一人が成長し、最高学年としてふさわしい2学期にしていきたいと思います。

3学年代表 3年2組 里山 真実さん

私の2学期の抱負は3つあります。1つ目は、コミュニケーション力を高めること、2つ目は、高校受験に向けての勉強、3つ目は、学校行事を通して、協調性や団結力を高めることです。

コミュニケーション力を高めることでは、四箇条にもなっているあいさつやふわふわ言葉などの言葉遣いを気をつけたいです。

3年生になり、最高学年として、2年生の時よりも、一層意識を高めたいと思いました。あいさつでは頭をしっかり下げること、言葉遣いでは、言葉の意味をしっかりと考えて使うことで、卒業した後にも生かせるようにコミュニケーション力を高めたいと思います。



生徒会代表 3年2組 花田 穂果さん

今年度、私が目指す文化発表会は、「一人一人が主役になれる文化発表会」です。「一人一人が主役になれる文化発表会」とは、本番の一瞬の姿が見せるものでも、文化委員の生徒の働きかけだけで達成できるものでもありません。練習の時から、学級全員で一致団結して真剣に取り組むことで達成へと向かうことができると思います。

短い練習期間の中で、一人一人の意識を高め、自分の力を最大限に出し切って頑張りましょう。コロナ禍で行われる文化発表会は、思い通りにいかない部分もあると思います。しかし、その中でも、南中生一人一人が主役になれるように、一生懸命取組を考えたいと思います。そして、思い出に残るような文化発表会を作り上げていきたいと思います。



一人一人がこれからの「出会い」を大切に...

27日(金)の始業式後に行われた学年集会では、馬場先生からは1学期をふり返っての映像と、2学期に向けての話がありました。1学期のふり返りの映像では、4月の始業式から7月の終業式までの主な行事と生徒会活動をふり返りました。映像中、みんなが和気あいあいとしながら、隣の人と映像を楽しみながら話をしている姿は、3年生の良さです。これからも、仲間との時間を楽しめる、励まし合える学年にしていきたいと思います。そのためにも、2学期は、南中で大切にしている、「あいさつ(あいさつ四箇条)・黙働掃除・時間・正対(傾聴姿勢)・身だしなみ」を徹底していきたいと思います。日々の姿が、仲間の頑張りを励ましたり、応援したりする力になります。2学期も、新型コロナウイルスの影響で、様々な制限がある中での学校生活になります。一人一人が自分の進路に向かって邁進し、3年生全員が生徒会スローガン「陽向麗~ひまわり~」のように輝けるような時間にしていきたいと思います。

また、田口先生からは2学期に望むことについて、「様々な出会いを大切に。」という話がありました。

戦国時代に活躍した茶人、千利休のことばに「小さな出会いを大切に育てて

いくことで、人生の中での大きな出会いになることもある。」という

言葉があります。「一期一会」に通ずる言葉になりますが、大きな出会いになるかどうかはいくつか条件がありそうです。それは、出会ったときに「もう二度と会えないかもしれない」という覚悟をもって臨めるかどうか。「お互いに有意義な時間を過ごし、良い縁をつくろうとするかどうか。」「その時一度きりのものを互いに誠意をもって接することができるかどうか。」

つまり、自分自身の前向きな心構えが必須の条件になるということです。

今までの「出会い」に加え、これから出会う人との「出会い」も大切にしていこう。

3年生は、9月8日(水)~10日(金)の3日間、「福祉講座」を行います。特に最終日の10日には、地域の方5名を学校にお招きして講話をしていただくことになっています。上記の千利休の言葉のように、最高の「大きな出会い」になることを期待しています。